



# 川崎中ロータリークラブ会報

KAWASAKI NAKA ROTARYCLUB/FOUNDED 1972.7.15

【2024-25 年度 地区方針】「次世代につなごう！！」

会 長 野口 新二  
副 会 長 萩原 ひとみ  
幹 事 小島 正徳  
S A A 富岡 昭一  
会報委員長 一ノ瀬 仁敏

2024～2025

第 2421 回例会

2024 年 9 月 10 日

例会日 毎週火曜日 12 時 30 分点鐘  
例会場 川崎市中原区小杉町 3-10  
ホテル精養軒  
TEL(044)711-8855  
事務所 川崎市中原区小杉町 3-428  
山協ビル 402 号 TEL(044)722-  
4331 FAX(044)722-6334  
E-mail: k-naka@galaxy.ocn.ne.jp  
URL: <https://www.kawanaka-rc.com>

## 例 会 報 告

開会点鐘 野口 新二会長  
司 会 富岡 昭一 SAA  
合 唱 ロータリーソング  
「我らの生業」

クラブソング「拓け未来へ広げる友の輪」

お客様紹介 原 敏之親睦活動委員長

・川崎市中原区役所危機管理担当 地域防災担当  
・川崎北ロータリークラブ クルーズ由美子様

## 今後のプログラム

日 時	プログラム
10/8	卓話 米山選考委員長 一楽 祥子様
10/15	ガバナー公式訪問

## 出席報告

大友徹出席委員長(出席担当)

会員数	出席数	欠席数	出席率	前々回訂正出席率
41 名	29 名	12 名 対象外 (4)	78.38%	欠 11 名 対象外 (5)

## 【本日の欠席者】

三木 治一会員 長谷川俊雄会員 朝倉 和信会員  
細山勝三郎会員 片岡 英之会員 市川 宏 会員  
金子 利昭会員 小原 亨 会員 佐川 陽子会員  
志村 修司会員 代田 美紀会員 渡邊 新治会員

## ニコニココーナー 一ノ瀬 仁敏 SAA(補)

クルーズ由美子様:いつもお世話になっております。

鳥羽社長ご入会おめでとうございます。

野口 新二会長:先日川崎市教育委員長にお会いし  
(島・野口・富岡・小島)4 名で感謝  
状を受領致しました。これで一件落  
着致しました。皆様ご協力ありがと  
うございました。

小島 正徳幹事:川崎市中原区役所危機管理担当地  
域防災担当者様「ぼうさい出前講座」  
楽しみにしております。よろしくお願  
いします。

萩原 ひとみ副会長:本日は中原区役所担当者様「ぼ  
うさい出前講座」をありがとうございます。  
よろしくお願ひ致します。

内藤 幸彦会員:中原区役所危機管理担当者様ご苦  
労様です。申し訳ありませんが地区  
委員長会議で早退させて頂きます。  
よろしくお願ひします。

鹿島 義久会員:先日のクラブ米山記念奨学委員長会  
議に小丸さん代理出席頂きありがと  
うございました。

川口 禮敬会員:今日も元気に例会出席できました。

白井 正男会員:中原区役所危機管理担当者様卓話  
よろしくお願ひ致します。

小島 徹会員:本日は「ぼうさい出前講座」で区役所の  
担当の方にお願ひしました。よろしくお  
願ひします。

富岡 昭一会員:中原区役所危機管理担当地域防災  
担当者様本日の卓話よろしくお願ひ  
します。

小丸 日出夫会員:中原区役所危機管理担当地域防  
災担当者様本日は卓話よろしくお願ひ  
致します。

合計	11 件	16,000 円
累計	123 件	162,000 円

## 会長報告

野口 新二会長

1. 国際ロータリーより 2024 年 9 月のロータリーレートのお知らせが届いております。2024 年 9 月 1\$=145 円 ご参考)2024 年 8 月 1\$=154 円
2. 地区よりロータリー財団セミナー開催のご案内が届いております。日 時:10 月 1 日(火)15:00~17:30 場 所:メモワールプラザソシア 21 4F「ウイング」
3. 米山学友会より総会のご案内が届いております。日 時:9 月 28 日(土) 10:30~ 受付場 所:總持寺 三松閣(JR 鶴見駅西口)

## 幹事報告

小島 正徳幹事

1. 例会変更  
新川崎 9/25(水) 休会  
川崎大師 9/25(水) 休会  
川崎鷺沼 9/18(水)川崎市役所新庁舎見学 10:00 ~ 移動例会 点鐘:12:30 雲梅一包軒 マルイファミリー溝の口 10F  
9/25(水) 休会  
川崎高津 9/19(木)→21 日(土)移動例会「献血運動」(溝口駅前)  
9/26(木) 夜間例会 ホテル ARU KSP  
点鐘:18:00 「第 2 回クラブ協議会」ガバナー補佐訪問  
川崎幸 9/27-10/11(金)休会  
川崎 9/19-10/17(木)休会  
川崎中央 9/16-23(月) 休会  
9/30(月) 秋の夜間移動例会 点鐘 18:00 場所:隠れ房 川崎店  
2. 9/17-24 は休会です。  
3. 10/1 は例会終了後、ガバナー補佐とクラブ協議会②を開催致します。  
4. <10 月の予定>

- 10/1 通常例会 例会終了後、ガバナー補佐とクラブ協議会②  
10/8 通常例会 例会終了後、理事役員会  
10/15 ガバナー公式訪問(通常例会)  
10/22 休会  
10/29 通常例会

## 感謝状



川崎中ロータリークラブ 50 周年記念文集「拓こう平和への道」贈呈のお礼として、川崎市長福田紀彦様より感謝状を受領いたしました。

## 富山ロータリークラブ訪問



昭和 32 年富山ロータリークラブから奨学金を  
いただいて

川崎中ロータリークラブ 島利夫

川崎中ロータリークラブ所属の 島利夫で  
ございます。

山田方輝さんとは富山大学付属小中学校の同級  
生です。私は川崎市中原区で救急告示有床診療所  
島脳神経外科整形医院を運営して 41 年になり  
ます。病院は横浜日吉の慶応大学の近くにあり  
ます。

私は昭和 32 年 1957 年、今から 67 年前富山  
高等学校に入学したとき富山ロータリークラブ  
から奨学金をいただきました。いつか富山ロー  
タリークラブを訪問し、感謝の気持ちを伝えな  
ければと思っていましたがまだ仕事をしており  
平日の訪問はできませんでした。今日訪問出来  
て大変うれしく思っております。

奨学金として当時 1 ヶ月 500 円、3 年間で  
18,000 円いただきました。入学した金沢大学の

国立大学入学金は 1,000 円で、授業料は年間  
9,000 円でしたから 2 年間の大学の授業料に相  
当しました。ですから私の医学知識の基礎の 1/3  
は富山ロータリークラブのお陰だと感謝して  
おります。

私が所属する川崎中ロータリークラブのお話  
をします。1996 年入会し、2022-23 年川崎中  
ロータリークラブ 51 代会長をいたしました。この  
時クラブ創立 50 周年祝賀会をおこないました。  
また私の年度のテーマは奉仕の理想の「世界の  
久遠の平和」として日本の近代日本史を学ぶこ  
とを目的としました。卓話に付属小中学校同級  
生の南塚信吾千葉大、法政大学名誉教授にお願  
いし、ウクライナ・ロシア戦争、近代日本史の  
真実を学びました。私達の世代は戦争の悲劇を  
体験し、それを記憶している最後の世代です。  
子や孫達のためにその戦争の真実を今伝えな  
ければならないと思っています。卓話を聴き、  
それぞれの会員の思う所の感想文を集め、川  
崎中ロータリークラブ創立 50 周年記念文集  
(拓こう平和への道—戦争を見つめ直して)  
を編集しました。本日数冊もってきましたので  
是非全員の方に読んで戴きたく思っております。

奨学金のお礼を持って参りました。富山ロー  
タリークラブの奨学金の一部としてお受け取り  
下さい。そして富山ロータリークラブと川崎中  
ロータリークラブのバナーの交換を御願いたし  
ます。

最後に富山ロータリークラブの益々のご発展  
と会員の皆様のご健康であられることを祈念  
致しております。ありがとうございました。

川崎市中原区役所危機管理担当  
地域防災ご担当者

演題「ぼうさい出前講座」

1 災害について

災害には種類があり、今回は地震と、台風などの風水害の2種類についてその特徴と備えるにあたっての違いをお話いたします。

地震については、能登半島地震を例にお話します。能登半島地震は、御存知の通り1月1日に発生した、マグニチュード7.6の地震です。

発生した被害としては、家屋の倒壊や地面の隆起による道路への被害、がけ崩れなどがあげられます。川崎市の職員も避難所に派遣されました。

次に、風水害の代表的な例として令和元年東日本台風を御紹介します。勢力が衰えずに伊豆半島に上陸し、東海～関東地方に家屋の浸水などの大きな被害をもたらしました。

地震と風水害は、大きな特徴として、予測ができる／できないという違いがあります。地震は予測ができませんが、台風などの風水害は、ある程度予測が可能です。この違いにより、避難の方法も変わってきます。地震は発生してから避難し、避難生活は長くなりますが、風水害は一番被害が大きくなる前に避難し、危険が去ったらすぐ避難生活は終わります。

2 避難について

地震の時の被害をもう少し詳しく見ると、家にいることにより余震や火災の延焼から身を守るための一時的な避難と、自宅が損傷して住めなくなってしまった場合に長期間避難所に身を寄せる避難所生活という段階があります。さらに、自宅が無事だった場合は「在宅避難」という考え方が存在します。

在宅避難をするために、日ごろから家具の配置や、家具の固定などを検討することが重要です。

風水害時の避難は、自宅の浸水リスクをハザードマップで確認する必要があります。ただし、ハザードマップ上で浸水する区域であっても、浸水想定より上階に住んでいたり、一軒家でも上階に避難出来たりする場合は、在宅での避難が可能です。もし1階に住んでいるような場合は、前もって避難場所を決めておく必要がありますが、指定避難場所である学校に必ずしも行く必要はないため、複数の候補を持っておくことが大切です。

3 備蓄物資について

備蓄物資は、最低3日分、出来れば7日分を備える必要があるとされています。しかし、食料の場合はいつも食べない備蓄食料を買い置きしておくよりは、むしろ普段食べるものを1週間分ストックしておくという考え方があります。

また、水についても備蓄がない場合は、小学校・中学校に地震に強い水道管が整備されており、そこで飲料水を確保することができる場合があります。ただし、水を運搬する必要があるため、必要分は自宅に備えておく必要はあるでしょう。

また、災害時に断水・停電などをした場合は、トイレが問題になります。これについても、便座に袋をかぶせて、用を足した後に凝固剤で固めて普通ごみとして出す「簡易トイレ」を必要分家に用意しておくことが大切です。

まとめ

このように、災害の種類による備えの違いを頭に入れておくことや、避難＝学校に行くことではない、ということ、さらに、災害が起きる前に備えておくことが非常に重要です。たとえば、地震に対しても「●月●日に地震が起こる」と仮定して、それに備えてどういう準備が必要か、などと考えることも、家庭での重要な訓練となるので、是非試してみてください。